平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 福井銀行　　上場取引所　東
コード番号 8362　URL http://www.fukuibank.co.jp
代表者　(役職名) 代表執行役頭取　(氏名) 伊東 忠昭
問合せ先責任者　(役職名) 経営管理グループマネージャー　(氏名) 上野 吉弘　TEL 0776-24-2030

四半期報告書提出予定日　平成26年2月7日　特定取引勘定設置の有無　無
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	38,039	10.0	13,181	―	7,538	―
25年3月期第3四半期	34,555	△4.8	△11,137	―	△9,225	―

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　6,002百万円　(―%)　25年3月期第3四半期　△7,614百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	31.64	31.59
25年3月期第3四半期	△38.74	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,300,535	123,766	4.7
25年3月期	2,198,908	119,362	4.7

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　109,143百万円　25年3月期　105,071百万円
(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	2.50	―	2.50	5.00
26年3月期	―	2.50	―		
26年3月期(予想)				2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	―	7,100	―	29.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	241,446,697 株	25年3月期	243,446,697 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,413,272 株	25年3月期	4,407,754 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	238,233,401 株	25年3月期3Q	238,105,572 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。(詳細は【添付資料】P. 2「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。)

【添付資料】

目　　次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ……2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……2
３．四半期連結財務諸表 ……3
（１）四半期連結貸借対照表 ……3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……4
（３）継続企業の前提に関する注記 ……6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……6
４．補足情報 ……7
（１）損益の状況（単体） ……7
（２）金融再生法ベースのカテゴリーによる開示（単体） ……8
（３）自己資本比率（国内基準） ……8
① 単体 ……8
② 連結 ……9
（４）時価のある有価証券の評価差額（単体） ……9
（５）預金、貸出金等の状況（単体） ……9
① 預金等・貸出金の残高 ……9
② 個人・法人別預金残高 ……10
③ 預り資産残高 ……10
④ 消費者ローン残高 ……10
⑤ 中小企業等貸出金残高・比率 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息が減少したものの、償却債権取立益及び国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同期比34億84百万円増加し380億39百万円となりました。また、経常費用は、貸倒償却引当費用が大幅に減少したことなどから、前年同期比208億34百万円減少し248億57百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比243億19百万円増加し131億81百万円となり、四半期純利益は前年同期比167億63百万円増加し75億38百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比1,016億円増加し２兆3,005億円、純資産は前連結会計年度末比44億円増加し1,237億円となりました。

主要勘定につきましては、貸出金は、事業性貸出、地方公共団体向け貸出がともに順調に推移したことなどから、前連結会計年度末比564億円増加し１兆4,789億円となりました。譲渡性預金を含めた預金等は、個人預金の増加を主因に、前連結会計年度末比703億円増加し２兆987億円となりました。また、有価証券は、前連結会計年度末比228億円減少し5,773億円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年３月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月８日公表の予想値から変更ありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第３四半期連結累計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

なお、連結子会社であります株式会社福井ディーシーカードは、平成26年２月１日付で株式会社福井カードに商号変更いたしました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の処理

連結子会社の税金費用は、当第３四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
現金預け金	35,198	109,739
コールローン及び買入手形	81,191	70,466
買入金銭債権	1,372	1,198
商品有価証券	227	477
金銭の信託	5,500	6,054
有価証券	600,180	577,320
貸出金	1,422,443	1,478,913
外国為替	5,910	8,748
その他資産	23,190	25,277
有形固定資産	21,799	21,613
無形固定資産	965	689
繰延税金資産	6,581	3,074
支払承諾見返	13,246	14,804
貸倒引当金	△18,899	△17,842
資産の部合計	2,198,908	2,300,535
負債の部		
預金	1,978,115	1,982,206
譲渡性預金	50,245	116,512
コールマネー及び売渡手形	470	2,107
債券貸借取引受入担保金	－	13,745
借用金	6,035	12,680
外国為替	165	408
社債	10,000	10,000
その他負債	12,328	15,628
賞与引当金	213	2
役員賞与引当金	－	25
退職給付引当金	4,933	4,992
睡眠預金払戻損失引当金	328	249
偶発損失引当金	328	271
再評価に係る繰延税金負債	3,134	3,134
支払承諾	13,246	14,804
負債の部合計	2,079,546	2,176,769
純資産の部		
資本金	17,965	17,965
資本剰余金	2,630	2,630
利益剰余金	66,244	72,123
自己株式	△998	△760
株主資本合計	85,841	91,958
その他有価証券評価差額金	13,604	11,548
土地再評価差額金	5,626	5,635
その他の包括利益累計額合計	19,230	17,184
新株予約権	51	68
少数株主持分	14,239	14,554
純資産の部合計	119,362	123,766
負債及び純資産の部合計	2,198,908	2,300,535

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
経常収益	34,555	38,039
資金運用収益	22,551	20,787
（うち貸出金利息）	17,163	15,793
（うち有価証券利息配当金）	5,080	4,503
役務取引等収益	4,994	5,132
その他業務収益	5,607	7,561
その他経常収益	1,401	4,559
経常費用	45,692	24,857
資金調達費用	782	709
（うち預金利息）	574	513
役務取引等費用	1,633	1,706
その他業務費用	4,855	5,274
営業経費	15,832	16,028
その他経常費用	22,588	1,137
経常利益又は経常損失（△）	△11,137	13,181
特別損失	1,155	113
固定資産処分損	19	42
減損損失	1,135	70
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△12,292	13,068
法人税、住民税及び事業税	62	521
法人税等調整額	△3,212	4,553
法人税等合計	△3,149	5,075
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△9,143	7,993
少数株主利益	82	455
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△9,225	7,538

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△9,143	7,993
その他の包括利益	1,528	△1,991
その他有価証券評価差額金	1,528	△1,991
繰延ヘッジ損益	0	－
四半期包括利益	△7,614	6,002
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,690	5,483
少数株主に係る四半期包括利益	75	518

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

（１）平成２６年３月期第３四半期　損益の状況（単体）

○当第３四半期のコア業務純益は、貸出金利息の減少を主因に、前年同期比 13 億 36 百万円減少し、72 億 15 百万円（通期業績予想比 90.18%）となりました。
○経常利益は、貸倒償却引当費用が大幅に減少したこと等から、前年同期比 244 億 77 百万円増加し、116 億 41 百万円となりました。
○上記の結果、四半期純利益は 70 億 74 百万円となり、経常利益とともに平成 25 年 11 月 8 日公表の通期業績予想値を上回っておりますが、現時点において、通期業績予想の修正はありません。

（単位：百万円）

	平成25年3月期 第３四半期 （９か月間） （A）	平成26年3月期 第３四半期 （９か月間） （B）	前年同期比 （B）－（A）	平成26年３月期 通期業績予想 （１２か月間）
経常収益	28,574	31,248	2,674	37,700
業務粗利益	24,170	23,574	△ 596	
資金利益	21,336	19,517	△ 1,819	
役務取引等利益	2,392	2,434	42	
その他業務利益	442	1,622	1,180	
（うち債券関係損益）	246	932	686	
経費（除く臨時処理分）	15,372	15,425	53	
人件費	7,674	7,995	321	
物件費	6,946	6,788	△ 157	
税金	752	642	△ 110	
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	8,798	8,148	△ 649	
コア業務純益（注２）	8,552	7,215	△ 1,336	8,000
①一般貸倒引当金繰入額	2,929	493	△ 2,436	
業務純益	5,869	7,655	1,786	
臨時損益	△ 18,704	3,986	22,690	
うち株式関係損益	△ 572	731	1,304	
②うち不良債権処理額	19,408	247	△ 19,161	
（貸倒償却引当費用①＋②）	22,337	740	△ 21,597	
③うち償却債権取立益	745	2,820	2,075	
④うち偶発損失引当金戻入益	87	57	△ 30	
経常利益（△は経常損失）	△ 12,835	11,641	24,477	10,500
特別損益	△ 1,002	△ 110	891	
うち減損損失	1,135	70	△ 1,065	
税引前四半期純利益（△は税引前四半期純損失）	△ 13,837	11,531	25,368	
法人税等	△ 3,733	4,456	8,189	
四半期（当期）純利益（△は四半期（当期）純損失）	△ 10,104	7,074	17,179	6,600
与信関係費用①＋②－③－④	21,505	△ 2,137	△ 23,642	

（注）１．記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
２．コア業務純益 ＝ 業務純益 （一般貸倒引当金繰入前）－ 債券関係損益

（2）金融再生法ベースのカテゴリーによる開示（単体）

○金融再生法ベースのカテゴリーによる開示債権は、平成25年９月末と変わらず、424億円となりました。また、総与信に占める割合は平成25年９月末比0.03ポイント低下し、2.80％となりました。

（単位：億円）

	平成25年9月末（A）	平成25年12月末（B）	増減（B）－（A）
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	101	97	△ 4
危険債権	317	317	0
要管理債権	5	9	3
合　　計	424	424	0

総与信に占める割合	2.83％	2.80％	△ 0.03％

（注）1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 各四半期末（期末）の債務者区分（※）に基づく対象債権残高に対し、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額（部分直接償却）しております。

※債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
危険債権（破綻懸念先の債権）
要管理債権（要注意先のうち、元本又は利息の支払が３カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権）

（3）自己資本比率（国内基準）

○単体自己資本比率は、平成25年９月末比0.07ポイント低下し、11.34％となりました。連結自己資本比率は、平成25年９月末比0.10ポイント低下し、12.01％となりました。

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

① 単体

（単位：億円）

	平成25年9月末（A）	平成25年12月末（B）	増減（B）－（A）
自己資本比率	11.41%	11.34%	△ 0.07%
うちTier I 比率	9.42%	9.39%	△ 0.03%
基本的項目（Tier I）	959	986	26
補完的項目（Tier II）	203	205	2
控除項目	－	－	－
自己資本計	1,162	1,191	28
リスク・アセット	10,184	10,500	316

② 連結　　（単位：億円）

	平成25年9月末（A）	平成25年12月末（B）	増減（B）－（A）
自己資本比率	12.11%	12.01%	△ 0.10%
うちTier I 比率	10.12%	10.07%	△ 0.05%
基本的項目（Tier I）	1,036	1,062	26
補完的項目（Tier II）	203	205	2
控除項目	－	－	－
自己資本計	1,239	1,268	28
リスク・アセット	10,234	10,553	319

（4）時価のある有価証券の評価差額（単体）

時価のある有価証券の評価差額は、株式の評価差額が増加したことを主因に、平成25年9月末比6億円増加して171億円の評価差額となりました。

評価差額（単体）　　（単位：億円）

	平成25年9月末（A）	平成25年12月末（B）	増減（B）－（A）
有価証券計	164	171	6
株式	50	65	14
債券	96	93	△ 3
その他	16	12	△ 3

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

（5）預金、貸出金等の状況（単体）

○預金と譲渡性預金の合計額は、個人預金が順調に増加したことなどから、平成25年9月末比437億円増加し、２兆1,058億円となりました。
○貸出金は、事業性貸出金及び消費者ローンが順調に増加したことなどから、平成25年9月末比106億円増加し、１兆4,904億円となりました。
○預り資産につきましては、公共債（国債等）は平成25年9月末比19億円減少して640億円となり、また投資信託は平成25年9月末比13億円減少して603億円となりました。

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

① 預金等・貸出金の残高（末残）　　（単位：億円）

	平成25年9月末（A）	平成25年12月末（B）	増減（B）－（A）
預金	19,702	19,839	137
譲渡性預金	918	1,219	300
預金＋譲渡性預金	20,621	21,058	437
貸出金	14,797	14,904	106

② 個人・法人別預金残高 （末残）

（単位：億円）

	平成25年9月末（A）	平成25年12月末（B）	増減（B）－（A）
預金合計	19,702	19,839	137
個人	13,778	14,034	255
法人	5,923	5,804	△ 118

③ 預り資産残高 （末残）

（単位：億円）

	平成25年9月末（A）	平成25年12月末（B）	増減（B）－（A）
公共債（国債等）	660	640	△ 19
投資信託	617	603	△ 13
個人年金保険（注）	910	959	48

（注）個人年金保険は、販売累計額を計上しております。

④ 消費者ローン残高 （末残）

（単位：億円）

	平成25年9月末（A）	平成25年12月末（B）	増減（B）－（A）
消費者ローン残高	4,096	4,154	58
住宅ローン残高	3,964	4,021	56
その他ローン残高	132	133	1

⑤ 中小企業等貸出金残高（末残）・比率

（単位：億円）

	平成25年9月末（A）	平成25年12月末（B）	増減（B）－（A）
中小企業等貸出金残高	8,078	8,262	183
中小企業等貸出金比率	54.59%	55.43%	0.84%

以 上